



婦人と子ども

第十二卷第四號

春風

春風が吹く。温かさと和かさを以て春風が吹く。山に、野に、森に、街に、新しい春風が吹く。其の春風の訪づるゝ處、包むに餘る喜びが漲り溢れる。草の緑、花の匂、さては野川の水の音にも。

幸なるかな春風に浴す。願はくは更に自ら春風となつて人の心の裡に吹かん。愛らしき園の若芽は吾等を待てるに。